

2020年11月6日

日興アセットマネジメント株式会社

基準価額20,000円突破！ (2020年10月12日)

## イノベティブ・フューチャー (愛称)

## パフォーマンスの振り返りと今後の見通し

当ファンドは、世界経済の成長の原動力となり得るイノベーション関連銘柄を主要な投資対象とするファンドとして2019年6月28日に設定されました。

投資先企業を厳選し、企業規模にこだわらず投資を行なう当ファンドは、ポートフォリオの組入銘柄数が少なく、現状では中小型株の比率が高いことなどから、基準価額の値動きは市場平均に比べて大きくなる傾向があります。実際、当ファンドの基準価額は、コロナショックなどの影響を受け大きく落ち込む局面がありました。しかしながら、本年3月後半からは堅調な推移となり、基準価額は20,000円を突破(2020年10月12日時点)するに至りました。

本資料では、当ファンドの設定来の運用状況を振り返るとともに、基準価額騰落の要因や今後の見通しなどについて、当ファンドの主な投資対象である外国投資法人の運用に助言を行なうアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー(ARK)の見解をもとに、ご紹介します。



- 基準価額は信託報酬等(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。世界株式はMSCI ACワールド指数(米ドルベース、トータルリターン)の値です。なお、世界株式は、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、当ファンドの前営業日の世界株式の値を円換算して算出した値を掲載しています。なお、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

# 銘柄別パフォーマンス寄与度

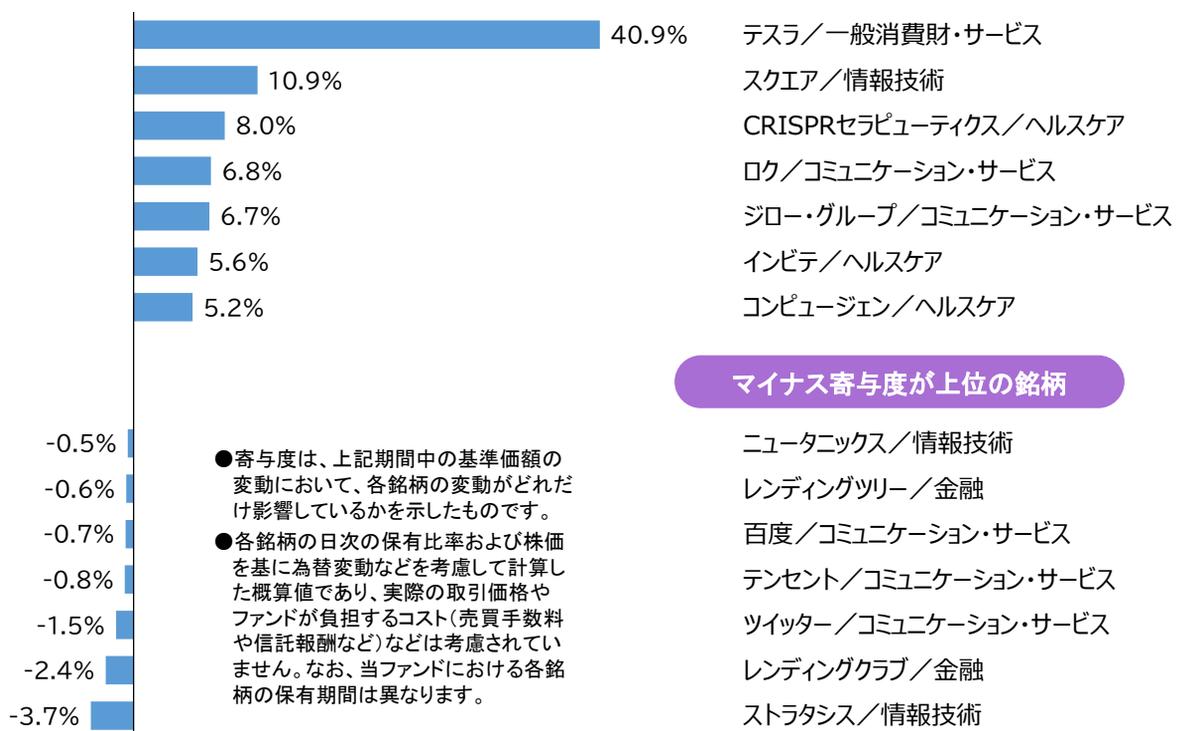
2019年6月28日（設定日）～2020年10月16日（+100.4%）の分析

個別銘柄のパフォーマンス寄与度からは、当該期間に最もプラス寄与した銘柄であるテスラの寄与(+40.9%)が、全体(+100.4%)の4割程度を占めていたことがわかります。また、コロナショック時に値下がりがりした銘柄もその後に回復するなどした結果、マイナスに寄与した銘柄は全64銘柄中15銘柄に留まりました。

プラス寄与度が上位のテスラやスクエア、CRISPRセラピューティクス、インビテなどは、当該期間を通して組入上位にあった銘柄であり、ARKの銘柄への確信度に基づく選択が奏功したと考えられます。

## 銘柄別寄与度

(上位/下位、各7銘柄)



### プラス寄与度が上位の銘柄

テスラ/一般消費財・サービス  
スクエア/情報技術  
CRISPRセラピューティクス/ヘルスケア  
ロク/コミュニケーション・サービス  
ジロー・グループ/コミュニケーション・サービス  
インビテ/ヘルスケア  
コンピューゼン/ヘルスケア

### マイナス寄与度が上位の銘柄

ニュータニクス/情報技術  
レンディングツリー/金融  
百度/コミュニケーション・サービス  
テンセント/コミュニケーション・サービス  
ツイッター/コミュニケーション・サービス  
レンディングクラブ/金融  
ストラタシス/情報技術

●上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。

また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

●寄与度は、実際の基準価額の騰落に対する寄与度を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

●上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

## 当ファンドの高パフォーマンスに寄与した銘柄について

当該期間の相対的に良好なパフォーマンスに寄与した銘柄群について、次ページ以降で、ARKからのコメントをもとにご説明します。



## 当ファンドの高パフォーマンスに寄与した銘柄①

### テスラ(米国)

ここでは、設定以降の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。

#### 【組入理由】

- ARKは、イノベーションの普及がもたらす銘柄の将来価値と、現在の株価の比較といった観点などから、確信度合いの高い銘柄の組入比率を高めて運用しており、テスラについて高い期待を持っています。
- EV(電気自動車)メーカーとしての高い評価はもちろんのこと、テスラネットワーク(自動運転タクシーネットワーク)構想が実現すれば、車両販売時だけに限定されない事業収益が将来期待されます。

#### 【今後の見通し】

- テスラは、今後3年間で、同社のバッテリーコストを50%以上引き下げるとともに、走行距離を50%伸ばす新型車の構想を発表しました。また、この新型車の価格は、現在最も低価格な車両より10,000米ドル安い、25,000米ドル以下にすることが可能になるとしています。
- 市場はテスラの計画をあまり高く評価してはいませんが、ARKでは、テスラの計画はバッテリー構造と生産プロセスの大幅な改善によって可能になると考えています。

※写真はイメージです



#### 【TOPICS】

- 当ファンドの設定以降、組入比率の第1位銘柄はテスラとなっています。(2019年7月末～2020年9月末)
- ファンド運用開始以降のテスラの株価騰落率は約788%(約8.9倍)となっています。(2019年7月末～2020年9月末)

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 当ファンドの高パフォーマンスに寄与した銘柄②

ここでは、設定以降の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。

### CRISPRセラピューティクス（スイス）

- 【組入理由】
- 画期的なゲノム編集技術「CRISPR/Cas9(クリスパー/キャスナイン)」の基礎的ライセンスを保有する3社のうちの1社である点
- 【今後の見通し】
- ARKでは、迅速な意思決定や高い技術力に加え、血液疾患の研究分野における先駆者としての優位性などから、患者の体外で行なう遺伝子治療において同社が先行するとみています。
- 【TOPICS】
- 2020年のノーベル化学賞には、従来の技術と比べて、大幅に短期間かつ低コストで遺伝子を効率的に改変するゲノム編集技術「CRISPR/Cas9」の主要な開発者とされる2名が選ばれました。
  - ARKは「CRISPR/Cas9」についても早い段階から関心をもっています。当ファンドの設定当初から、「CRISPR/Cas9」のライセンスを保有する企業として投資を行なっています。



※写真はイメージです

### インビテ（米国）

- 【組入理由】
- 同社が手がける、今後の医療の在り方を変え得る分子診断サービス\*の巨大な成長ポテンシャル
- \* 現在、疾患特定のために行なわれる数多くの検査を、血液などの分子検査で行なうサービス
- 【今後の見通し】
- ARKでは、同社の分子診断サービスを使った診断が標準的な診断方法となる可能性があると考えており、今後、同社の業績のさらなる拡大を見込んでいます。

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 当ページは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 当ファンドの高パフォーマンスに寄与した銘柄③

ここでは、設定以降の基準価額騰落に寄与した銘柄群についてARKからのコメントをもとにご説明します。

### スクエア(米国)

- 【組入理由】
  - スクエア・リーダー(クレジットカード決済システム)の順調な販売
  - 融資サービス「スクエア・キャピタル」の成長ポテンシャルおよび決済サービス「Cash App」の利用者の急拡大
- 【今後の見通し】
  - ARKでは、同社は銀行口座を保有しない人々を取り込むと共に、サービスにビットコインなどの暗号資産や株式の売買機能といった新たな機能を徐々に加え、総合的なデジタル・ウォレットのサービス事業者として成長を続けると想定しています。
- 【TOPICS】
  - 2020年3月、条件付きながら、銀行免許(中小企業向け融資、預金商品の提供など)を獲得。



※写真はイメージです

### ロク(米国)

- 【組入理由】
  - 独自の家庭用ビデオストリーミング端末の販売やテレビのプラットフォームとなるシステムを提供する事業者であり、機器の設置数が最大手の一角であることから、テレビ視聴用OSの供給会社になり得ると考えている。
- 【今後の見通し】
  - ARKでは、今後もテレビ視聴のスタイルのビデオストリーミングへの移行が進むと考えています。すでに多くのユーザを抱える同社は、提供する無料動画からの広告収入によって業績を更に拡大させると見込まれます。

### ジロー・グループ(米国)

- 【組入理由】
  - オンライン不動産情報サイトで不動産や地元業者の情報などを発信しているほか、不動産売買マッチングサービスなどを展開している点
- 【今後の見通し】
  - ARKでは、一般に多大な労力と多くの時間が必要な不動産の売買や価格査定を大幅に削減できる同社は、不動産取引の次世代プラットフォームとして成長すると考えています。

- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## 不確実性が高まる中、ARKが改めてお伝えしたいこと

当ファンドの主要投資対象である外国投資法人の運用に助言を行なう、ARKの見方をお伝えします



Catherine D. Wood

(創業者、CEO / CIO(最高投資責任者))

### コロナショック時、市場では何が起きていたのか

恐怖や不確実性、疑念と隣り合わせの時代には、企業や消費者は、革新的な製品やサービスを求めます。その結果、イノベーションがもたらす新たな市場が生まれ、それが普及していくなかで、それに携わる企業は大きな市場シェアを獲得し急成長できるのです。

こうした業績の裏付けがあるにもかかわらず、こうした新参(新興)企業の株式は一般的なインデックスにおけるウェイトが低い傾向にあります。そのため、市場が混乱するなかで多くの投資家が資金をインデックスに振り向けると、必要以上に売られる傾向があります。しかしながら、必要以上に売られた新興企業の株式はインデックスよりも早く回復する傾向にあります。

実際、本年3月のコロナショックによる市場暴落の時もそうでした。ARKでは市場で大きく売られた銘柄のうち有望なものをポートフォリオに多く組み入れました。そしてコロナショックを機にイノベーションがもたらす製品やサービスを人々が利用するようになった結果、ポートフォリオに組み入れた銘柄は3月の底値から大きく上昇し、ファンドの運用成果に大きく貢献することになりました。



#### Q なぜ、ARKは破壊的イノベーションに早くから注目できたと思いますか？

ARKのリサーチチームと投資プロセスが、従来型の運用会社とは大きく異なるからです。

一般的な資産運用会社が、概して国や業種といった区分で調査を行なうのに対して、ARKは破壊的イノベーションのみに焦点を当てており、リサーチチームは豊富な専門知識を持ち、セクターを越えた破壊的イノベーションのテーマによって戦略的に編成されています。

現在ARKでは、ロボティクス、AI(人工知能)、ブロックチェーン、エネルギー貯蔵、DNA解析といったイノベーションプラットフォームから生じる大規模な投資テーマを探っています。ARKでは、トップダウンとボトムアップの両方の視点から、最低でもこの先5年間にわたり投資テーマがどう進展するかを調べています。

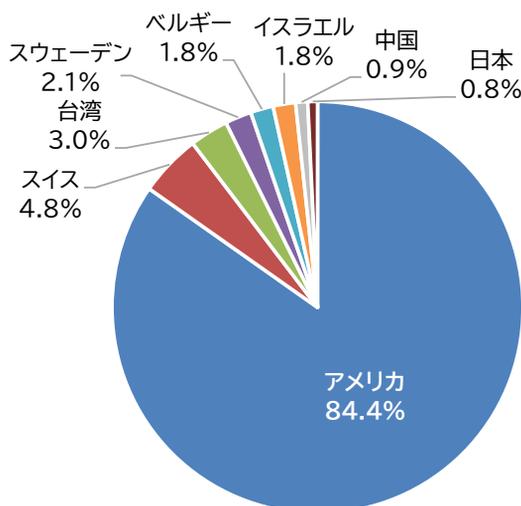
その結果、先に挙げたイノベーションプラットフォームは有望な投資テーマであるとARKはみており、指数関数的な成長を遂げると期待しています。

- 当ページは、ARKからのコメントや各種公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

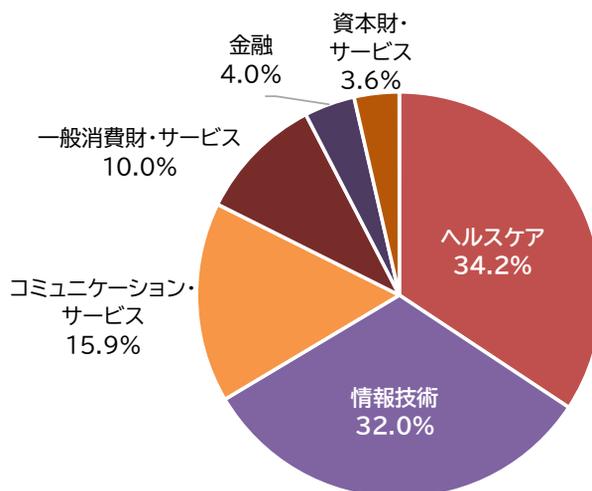
## ポートフォリオの状況

2020年9月末現在

## 国・地域別組入比率



## 業種別組入比率



※ 記載項目のほかにその他などがある関係で合計が100%とならない場合があります。

## 組入上位10銘柄

(銘柄数50銘柄)

	銘柄名	通貨	国・地域名	業種	比率
1	Tesla Inc. テスラ	米ドル	アメリカ	一般消費財・サービス	9.8%
2	Invitae Corp. インビテ	米ドル	アメリカ	ヘルスケア	7.6%
3	Square, Inc. Class A スクエア	米ドル	アメリカ	情報技術	6.4%
4	Roku, Inc. Class A ロク	米ドル	アメリカ	コミュニケーション・サービス	5.9%
5	CRISPR Therapeutics AG CRISPRセラピューティクス	米ドル	スイス	ヘルスケア	4.8%
6	Zillow Group, Inc. Class C ジロー・グループ	米ドル	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.5%
7	2U, Inc. トゥーユー	米ドル	アメリカ	情報技術	3.4%
8	Proto Labs, Inc. プロトラプス	米ドル	アメリカ	資本財・サービス	3.2%
9	Teladoc Health, Inc. テラドック・ヘルス	米ドル	アメリカ	ヘルスケア	3.1%
10	Pure Storage Inc. Class A ピュア・ストレージ	米ドル	アメリカ	情報技術	2.8%

## 規模別構成比率

時価総額	比率
超大型株 (500億米ドル以上)	22.5%
大型株 (100億米ドル以上 500億米ドル未満)	28.9%
中型株 (20億米ドル以上 100億米ドル未満)	33.1%
小型株 (20億米ドル未満)	15.1%

※ 記載項目のほかにその他などがある関係で合計が100%とならない場合があります。

※ 上記は、当ファンドの主要投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人「日興AM ARKディスラプティブ・イノベーション・ファンドクラスA」の情報です。また、各種比率は当外国投資法人の純資産総額比です。

※ 上記銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## ファンドの特色

**1** 主に、世界的の上場株式の中から、破壊的イノベーションを起こし得るビジネスを行なう企業の株式\*を実質的な投資対象とします。

\* 預託証券を含みます。

- イノベーションの普及度合いや市場での評価は時間と共に変化することから、投資対象とするイノベーションは固定せず、随時見直しを行いません。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

**2** 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（アーク社）からの助言をもとに、日興アセットマネジメントアメリカズ・インクが当ファンドの主な投資対象であるルクセンブルグ籍円建外国投資法人「日興AM ARKディストラティブ・イノベーション・ファンド クラスA」の運用を行いません。

**3** 年1回、決算を行いません。

- 毎年5月20日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

- 市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

## お申込みに際しての留意事項①

### ● リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

### 【価格変動リスク】

- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

### 【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

（次ページに続く）



## お申込みに際しての留意事項②

(前ページから続く)

### リスク情報(続き)

#### 【信用リスク】

- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト(債務不履行)や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

#### 【為替変動リスク】

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

#### 【カントリー・リスク】

- 投資対象国における非常事態など(金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

#### ●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

## お申込みメモ（みずほ証券でお申込みの場合）

商品分類	追加型投信／内外／株式	
購入単位	（分配金受取コース）	1万口以上1口単位、1万円以上1円単位
	（分配金再投資コース）	1万円以上1円単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額	
信託期間	2029年5月21日まで（2019年6月28日設定）	
決算日	毎年5月20日（休業日の場合は翌営業日）	
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行休業日またはルクセンブルクの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して8営業日目からお支払いします。	

## 手数料等の概要（みずほ証券でお申込みの場合）

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料	購入時手数料は購入金額に応じて、以下の手数料率を購入価額に乗じた額になります。	
	5,000万円未満……………	3.3% (税抜3.0%)
	5,000万円以上1億円未満……………	1.65% (税抜1.5%)
	1億円以上……………	0.55% (税抜0.5%)
	※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。	
換金手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対し年率1.658% (税抜1.58%)程度が実質的な信託報酬となります。 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率0.858% (税抜0.78%)、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.8%程度となります。	
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額</u> が信託財産から支払われます。 組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。	

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



## 委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 [ホームページ] <a href="http://www.nikkoam.com/">www.nikkoam.com/</a> [コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	商号等: みずほ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

**nikko am**  
Nikko Asset Management